

令和 5 年度  
社会福祉法人おおの福祉会事業報告書

1. はじめに

(1) 沿革

社会福祉法人おおの福祉会は、平成 17 年 9 月 29 日付で島根県知事の設立認可を得、直ちに特別養護老人ホーム大野の郷の建設工事に着手し、平成 18 年 3 月末日完成を目指して工事が進められ、予定通りの竣工となり、特別養護老人ホーム大野の郷の業務並びに関連する老人短期入所事業は、平成 18 年 5 月 1 日から、また、老人デイサービス事業は平成 18 年 5 月 18 日から開始したところである。また、おおの福祉会の設立当初からの念願であった特別養護老人ホームの 30 床の増床が平成 22 年 6 月 1 日に完成し、平成 22 年 12 月末にはスプリンクラー設備の設置が完了した。平成 27 年 3 月末には、原子力災害対策施設整備事業の補助により、自家用発電機の設置、エアコン及び LED 照明の取り換え、非常時外気取入れユニット設置等の工事が完了した。平成 28 年度は塔屋防水改修工事を行った。

令和 3 年度は介護会計ソフトを導入、また老朽化に伴う衛生機器及びエアコンの取り換え工事を行った。給食業務委託業者について富士産業からセントラルキッチンにてクックチル方式を行っている日清医療食品に契約の変更を行った。

令和 4 年度は中国電力（松江市役所仲介）より日産キャラバンが 2 台貸与され、また、24 時間テレビからは日産セレナの福祉車両が贈呈された。

介護現場 IT 化の推進により、島根県介護ロボット等導入支援事業費補助金により、眠りスキャン(8 台)の設置及び Wi-Fi 接続工事を行った。

(2) 法人の基本理念

おおの福祉会の理念である明るく楽しい和みのある家庭的な施設創りを令和 5 年度も目指した。

- ・ 一人一人の人生を大切に
- ・ 入居者のペースに合わせたその人に合った個別ケア
- ・ 職員みんなが自由に意見やアイデアを出せる職場づくり

(3) 事業所

(第 1 種社会福祉事業)

特別養護老人ホーム大野の郷 定員 80 名

(第 2 種社会福祉事業)

老人短期入所生活介護事業所大野の郷 定員 10 名

地域密着型通所介護事業所大野の郷 定員 12 名

#### (4) 運営・経営

新型コロナ感染対応に全職員で取り組み、利用者、職員や職員の家族の感染予防に努めた。クラスター感染もあったが、職員がお互いに勤務を調整協力しあい乗り切った。

職員の福利厚生及び処遇改善に努め、職員本人及び家族が安心できる職場環境を目指し、育休や産休等の充実を行った。

令和5年度は建物の老朽化に伴う建物の改修工事や設備機器の取り換え、光熱費等の高騰により厳しい経営となった。また、令和6年度に計画しているエアコン改修工事及び陸屋根防水工事に多額な費用が必要なため、工事方法、補助金の有無等の検討を行った。また監事、社会保険労務士及び労働基準監督署と打合せしながら職員就業規則の見直しを行った。

例年通りホームページを更新し理念、基本方針、組織や経営状況の開示を行い法人経営の透明性をはかった。

#### (4) 職員体制

職員体制については、施設長、事務長、事業部長、生活相談員、看護師、栄養士、機能訓練指導員、ユニットリーダー、介護員、清掃員、洗濯員を配置し、入居者・利用者の処遇及び施設の管理体制の充実と強化を図った。

#### (5) 法人役員等

##### 評議員選任・解任委員会委員（4名）

氏名	役名	任期
梶原善一	監事	令和3年4月1日から令和6年の定時評議員会の終結まで
濱崎深雪	外部委員	〃
浅野敦子	事務長	〃
兼折太郎	事務局員	〃

##### 評議員（7名）

氏名	役名	任期
兼折 隆	評議員	令和2年4月1日から令和6年の定時評議員会の終結まで
多久和宣久	評議員	〃
藤原知一	評議員	〃
錦織 宏	評議員	〃
岩成 久	評議員	〃
伊中裕輔	評議員	〃
河内大輔	評議員	〃

役員（監事2名・理事6名）

氏名	役名	任期
片岡祐子	監事	令和5年定時評議員会の終結の時から令和7年定時評議員会の終結の時まで
梶原善一	監事	//
兼折 要	理事長	//
岩成廣巳	理事	//
加藤滋夫	理事	//
田中秀明	理事	//
伊藤京子	理事	//
小村邦彦	理事	//

2. 各種会議の開催状況

(1) 定時評議員会

回数	開催年月日	出席者数	審議事項
1	令和5年6月21日(水)	評議員5名 理事2名 監事2名 事務局2名	報告事項 ・令和4年度事業報告について 議事 ・令和4年度収支決算の承認について ・監事監査報告 ・次期役員（監事・理事）の選任について

(2) 理事会

回数	開催年月日	出席者数	審議事項
1	令和5年6月6日(火)	理事5名 監事2名 事務局2名	報告事項 ・職務執行状況報告 ・松江労働基準監督署の調査について ・理事長専決事項 議事 ・令和4年度事業報告について ・令和4年度収支決算報告について ・令和4年度監査報告 ・定時評議員会の招集について ・次期役員（監事・理事）候補者について

			・評議員選任・解任委員会委員の変更
2	令和5年6月21日(水)	理事6名 監事2名 事務局2名	議事 ・理事長及び業務執行理事の選定について
3	令和5年8月29日(火)	理事6名 監事2名 事務局2名	議事 ・職員就業規則の改正について
4	令和6年3月22日(金)	理事5名 監事2名 事務局2名	報告事項 ・職務執行状況報告 ・理事長専決事項について ・苦情処理について 議事 令和5年度収支補正予算(案)について 令和6年度運営方針・事業報告(案) 令和6年度収支予算(案)について 給食委託業務契約内容の変更及び契約更新

### (3) 監事監査

回数	開催年月日	出席者数	審議事項
1	令和5年5月16日(火)	監事2名 事務局3名	令和4年度業務執行・財務状況の監査

### 3. 事業、行事等実施状況

令和5年	
4月1日	社会福祉法人おおの福祉会職員辞令交付
4月12日	労働基準監督署来所
5月16日	監事監査
6月2日	就業規則策定 社会保険労務士打合せ
6月6日	令和5年度第1回理事会
6月21日	令和5年定時評議員会
6月21日	令和5年度第2回理事会
6月22日	就業規則策定 社会保険労務士打合せ
6月26日	社会福祉法人おおの福祉会資産総額変更登記
6月27日	現況報告書提出

7月 4日	就業規則策定 社会保険労務士打合せ
7月 6日	出雲市伊野地区三ノ谷町内健康指導 (看護師、機能訓練指導員、栄養士参加)
7月 6日	社会福祉法人指導監査説明会・研修会 (田中施設長、浅野事務長参加)
7月10日	島根県老人福祉施設協議会第1回総会 (業務執行理事参加)
7月20日	労働基準監督署報告徴収の実施
8月29日	令和5年度第3回理事会
9月 5日	市老人福祉施設整備資金借入金償還元利補給補助金入金
9月 8日	県民間社会福祉施設整備資金元利補給金入金 (前期)
9月11日	独立行政法人福祉医療機構返済 (利息)
10月6日	物価高騰対策応援金入金 (1,320,000円)
10月23日	内部監査
12月 6日	松江圏域老人福祉施設協議会総会 (田中施設長参加)
12月13日	松江市上下水道局打合せ (理事長・施設長)
令和6年	
3月 5日	市老人福祉施設整備資金借入金償還元利補給補助金入金
3月 6日	島根県老人施設協議会第2回総会 (理事長参加)
3月 8日	県民間社会福祉施設整備資金元利補給金入金 (後期)
3月11日	独立行政法人福祉医療機構返済 (元金及び利息)
3月13日	物価高騰対策食材費応援金入金 (1,854,000円)
3月22日	令和5年度第4回理事会

## 令和5年度

### 特別養護老人ホーム大野の郷・短期入所事業所大野の郷事業報告書

#### 1. 事業運営

特別養護老人ホーム大野の郷では、ユニットケア型施設として、入居者が家庭的な雰囲気の中で、小規模な生活単位で個別ケアを行い、入居者が自分らしく日々の生活を送ることができるよう支援した。

年々、入居者の医療的リスクが高くなっており、そのため入退所の回転率が上がっているためすぐに対象入居者が見つからず、スムーズに入所して頂くことが難しい時期もあった。また新型コロナウイルス蔓延のため、入所に時間を要することも認められたが、入所判定委員会等都度開催したり、ショートステイご利用の方で在宅生活が難しくなった方に優先的に入所して頂くことで現在安定につなげている。

新型コロナウイルスについては、3月に職員と入居者合わせて、12名のクラスターが認められたが、その後は感染対策の徹底により、予防が出来た。

また3月に介護職員の退職者が3名認められ、徐々に職員数も減っているが、人材紹介事業者とも連携し、職員確保につなげ現状のサービスの維持を図りたい。

短期入所事業所大野の郷については、入所前に新型コロナ抗原検査を実施しているため、未然に陽性者の入室を予防出来ており、今年度クラスターは発生せず、1日平均9.5名と高い利用率を維持出来、また年度末から現在にかけてキャンセル待ちも多く認められている。

短期入所は、基本的に在宅での生活を把握し、機能維持を図った上で、質の高いサービスの提供が実施出来た。

特別養護老人ホーム、また短期入所とデイサービス事業所の連携については、昨年度コロナ禍ということもあり、自粛していたが、今年度は連携を更に強化したい。

##### (1) 入居者の生活支援

入居者一人ひとりの人生を大切にし、入居者のペースに合った個別ケアを提供した。また、日常生活動作の維持向上を図りながら、生活の質を高めるように努めた。

##### (2) 地域福祉サービスの推進

地域にて福祉サービスが必要な方への短期入所また通所介護等の利用について積極的に推進し、地域に開かれた施設としての役割を果たすよう努めた。

##### (3) 家庭的な雰囲気の醸成

明るく家庭的な雰囲気のなかで、日常生活が送れるよう地域や家庭との結びつきを重視し、保健・医療・福祉等サービス提供機関との密接な連携に努めた。

##### (4) 明るく楽しい和みのある職場づくり

職員だれもが、明るくのびのびとした環境のなかで、自らのもてる力を充分発

揮できるよう、みんなで意見やアイデアを出し合い、職員相互の人間関係を大切に  
にした職場づくりに努めた。またそのための職員研修を積極的に実施した。

## 2. 入居者の処遇状況

入居者の自主性を尊重し、入居者が楽しく穏やかな日常生活を送ることができるよう  
に入居者と職員の間関係、あるいは職員間のチームワークを大切に、共に喜びあえ  
る施設づくりを目指した。特にWi-Fiや眠りスキャン等の機器の導入により、更に  
質の高い介護や連携が取れるようになったと考えられる。

入居者の処遇状況は次のとおりである。なお、入居者の状況については別紙を参照。

- (1) 健康の管理
- (2) 口腔ケア
- (3) リハビリ
- (4) 食事の提供
- (5) 入浴の介助
- (6) 排泄の介助
- (7) 生活環境の整備
- (8) 余暇活動の促進
- (9) 居室担当制の実施

## 3. その他

### (1) 防災活動

入居者及び職員を対象とした訓練を定期的実施し、防災意識の高揚を図った。  
昨年度は新型コロナ蔓延のため、総合防災訓練は出来なかったが、大野分団長に  
来所して頂き、火災時の対応等について相談した。また感染予防を徹底した上で  
職員間での研修や訓練を実施した

### (2) 職員研修

職場内研修の実施、施設外の研修への参加（コロナ禍にてズームも活用）によ  
り、職員の資質向上を図った。また年度末には資格がない職員全員に対し、施設  
負担で勤務中に認知症研修を受講してもらった

### (3) 家族との連携

入居者の家族との連携を密にし、交流促進を図り、入居者と家族との絆を保持  
するよう努めた。3月にコロナのクラスターが発生した際は、面会を中止したが、  
4月半ばからまた再開している

### (4) 年間行事

特別養護老人ホーム大野の郷、老人短期入所事業所大野の郷としての行事、職  
員の研修参加、施設での諸会議等の状況はそれぞれ別紙のとおりである

令和5年度  
地域密着型通所介護大野の郷事業報告書

1. 事業運営

デイサービス利用者の要介護状態等の心身の特性を踏まえて、その利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるように支援した。さらに、利用者の社会的な孤独感の解消及び心身機能の維持並びに利用者の家族の身体的・精神的負担の軽減を図るために、必要な日常生活上の援助及び機能訓練等や、その他必要な援助を行った。

事業の実施にあたっては利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ったサービスの提供に努め、明るく家庭的な雰囲気の中で、地域や家庭との結びつきを重視した事業の実施に努めた。

新型コロナウイルスに関しては、利用者には何名か陽性者が認められたが、特に事業を閉鎖することなく、運営出来た。

また全国的にデイサービス利用者については減っており、当施設でも現状徐々に減ってきている

特別養護老人ホーム大野の郷・短期入所事業所大野の郷との連携については、コロナ禍もあり難しい状況となっていたが、今年度は再度連携を深めたい。

運営推進会議については8月に実施し色々ご意見を頂いた。3月にも予定していたが、新型コロナウイルスが蔓延していたため中止とした。

2. 利用者の処遇状況

日常的な介護を必要とする者に対し、医療面及び日常生活面から、必要な支援を行い、要介護状態の軽減もしくは悪化の防止に努めるとともに、有意義な時間を提供し、毎日生きがいをもって充実した居宅での生活を送れるよう次の事項について援助した。

なお、デイサービスの利用者の状況は別紙のとおりである。

- (1) 生活指導
- (2) 食事の提供
- (3) 入浴の介助
- (4) リハビリ
- (5) レクリエーション
- (6) 健康管理
- (7) 衛生管理
- (8) 送迎の実施
- (9) 行事・趣味活動の促進

2. その他

デイサービス事業所大野の郷における行事の実施状況は別紙のとおりである。



大野の郷入居者状況（令和 6年 3月31日現在）

1) 特養入居者の状況

新規入居者 (令和 5年度)	退居者 (令和 5年度)	入居前の状況 (令和 5年度)		
		病院	施設関係	自宅
25名	26名 ※看取り：14名	8名	9名	8名

2) 特養年齢別・性別状況

年齢	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	合計
男性	0	1	0	1	2	2	3	1	1	11
女性	0	0	1	4	8	10	18	15	2	58
合計	0	1	1	5	10	12	21	16	3	69

3) 特養平均年齢状況

男性	女性	平均	最高年齢	最低年齢
87歳	89.6歳	89.2歳	101歳(女性)	67歳(男性)

4) 特養要介護度別状況

介護度	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	合計	介護度平均
人数	1	3	13	28	24	69	4.03

5) 短期入所状況

令和5年度/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
延べ入居者数(合計)	273	284	276	293	324	276
一日平均入居者数	9.1	9.2	9.2	9.4	10.5	9.2
令和5年～6年度/月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延べ入居者数(合計)	325	302	334	270	246	282
一日平均入居者数	10.5	10.1	10.8	8.7	8.5	9.1

1日平均入居者数（令和5年4月～R6年3月）： 9.5名

令和 5年度 特養・ショートステイ行事実施状況

月 日	ユニット名	行 事	内 容
4月5日	全ユニット	花見	斐川にチューリップを見に行った
4月6日	希望者	県知事・県議会議員選挙	不在者投票に参加
5月17日	全ユニット	母の日	メッセージカード等を渡す
6月21日	全ユニット	父の日	メッセージカード等を渡す
7月5日	全ユニット	七夕	短冊や行事食
9月27日	全ユニット	敬老会	長寿の祝い 食事会
10月18日	全ユニット	収穫祭	収穫された料理を味わう
11月2日	全ユニット	ドライブ ※中止し行事食のみ	行事食を味わう
12月20日	全ユニット	忘年会	鍋やお酒を味わった
12月26日	ショート	クリスマス会	ケーキを作って味わった
1月17日	全ユニット	新年会	おせちやお酒を味わった
2月7日	全ユニット	節分	各ユニットにて節分を行った
3月6日	全ユニット	ひなまつり	ひな人形を展示し行事食を味わった

※コロナ禍であるため、出来なかった行事もあり

令和 5年度 地域密着型通所介護大野の郷行事実施状況

月 日	行事名	内 容
6月16日	赤しそジュース作り	赤しそジュースを作り飲んだ
7月23日	スイカ割	スイカ割を楽しんだ
8月23日	卵焼きづくり	卵焼きを作って食べた
10月9日	おはぎづくり	おはぎを作って食べた
10月13日	ドライブ	一畑薬師参拝した
11月27日	ぜんざいづくり	ぜんざいを作って食べた
12月18日	蒸しパン作り	蒸しパンを作って食べた
1月8日	新年会	おせちを食べながらお祝いした
2月19日	おやつ作り	たこ焼きとベビーカステラを作った
3月14日	おやつ作り	プリンを作って食べた

※運営推進会議：8月20日に実施し、2回目を2月に予定していたが、新型コロナウイルスが蔓延していたため中止した

※新型コロナウイルスが流行していたため行事を中止した月もある

令和 5年度 大野の郷職員外部研修等参加状況

日付	研修名	参加者
4月1日	介護支援専門員専門研修兼更新研修	井上CM
4月18日	安全運転管理者等講習	兼折総務係長
4月～7月頃	パーセルインデックス 評価研修	田野島訓練指導員
4月19日	新型コロナウイルス感染症対策研修会	田中施設長
6月7日	松江圏域老人福祉施設協議会 総会	田中施設長
6月8日	松北地区地域包括ケア実行委員会・幹事会	田中施設長
7月6日	令和5年社会福祉法人指導監査説明会・研修会	浅野事務長 田中業務執行理事
8月～	実務者研修	久谷介護職員
9月～	介護職員によるたんの吸引等の実施のための研修	井上さやか介護職員
10月16日	労務管理研修 ※ズームにて	浅野事務長
10月24日	令和5年度福祉サービス苦情解決研修会	田中施設長
11月3日	介護ロボット地域フォーラム	井上課長 多久和係長
11月9日	原子力防災訓練に係る訓練の相互見学	田中施設長
11月15日	I C T機器・介護機器展示会	三島部長他4名
11月23日	25回感染対策セミナー ※ズームにて	池田NS
11月30日	地域における終末期医療の現状と課題について	安部NS
12月6日	松江圏域老人福祉施設協議会 情報交換会	田中施設長
12月7日	高齢者虐待の防止に係る研修会	田中施設長
1月～3月	ケアマネ研修	金崎睦美職員
2月6日	令和5年高齢者福祉サービス経営セミナー	浅野事務長 兼折係長
2月26日	島根県介護支援専門員 施設ケアマネジメント研修	多久和係長
2月26日	認知症研修 ※ズームにて	細田里枝職員
2月29日	認知症研修 ※ズームにて	村松愛美職員
3月6日	島根県老人福祉協議会第2回総会	兼折理事長
3月21日	認知症研修 ※ズームにて	藤原芳子職員
3月25日	認知症研修 ※ズームにて	玉木佐代子職員
3月31日	認知症研修 ※ズームにて	堀内香澄職員

令和 5年度 地域交流 学生・ボランティアの受け入れ等

日付	内 容	詳 細
5月8日	「NSの日」による訪問 (NS学生20名)	利用者様とのふれあい等
7月6日	伊野町「なごやか寄り合い」に参加 職員3名	認知症について説明
8月24日	「介護の出前授業 (中学)」説明会に参加 職員2名	説明会に参加
11月～12月	松江総合医療専門学校 看護学科の実習 5名	老年介護実習 (8日間)
2月～3月	松江総合医療専門学校 看護学科の実習 1名	老年介護実習 (8日間)

令和5年度 老人デイサービス事業所大野の郷 事業報告

(1) 利用者の状況

		男		女		合計	
		R4	R5	R4	R5	R4	R5
松江市内	大野町	1	1	3	3	4	4
	その他	7	6	15	6	22	12
松江市外		1	0	0	0	1	0
合計		9	7	18	9	27	16

(2) 要介護度別(年度末月)

(単位:人)

	経過的要介護		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		合計	
	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5
一														
男	0	0	3	1	3	3	2	1	0	0	1	0	9	5
女	0	0	1	2	9	7	3	0	3	1	2	1	18	11
合計	0	0	4	3	12	10	5	1	3	1	3	1	27	16

新規:8名      入所・退所:10名  
 (お試し×2名)      入所中1名

(3) 年間利用者延べ人数

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	36	31	32	30	27	31	36	37	31	31	33	40	395
女	103	126	135	104	107	108	100	95	93	90	81	86	1,228
合計	139	157	167	134	134	139	136	132	124	121	114	126	1,623
前年数	149	148	144	113	118	102	154	168	162	156	166	173	1,753
前年比	-10	9	23	21	16	37	-18	-36	-38	-35	-52	-47	-130

1日平均	7人	7人	8人	6人	6人	7人	6人	6人	6人	6人	5人	6人	6.3人
------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	------